

「自他尊重の表現方法」 －問題解決のためのシナリオ作り－	高2 ホームルーム (12月)授業実践プログラム2
---	---------------------------

1 題材設定の理由

(1) 活動の内容・項目

主たる内容・項目

<(2) - ア 個人及び社会の一員としての在り方生き方に関すること>
コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
自己及び他者の個性の理解と尊重

関連する内容・項目

<(1) ホームルームや学校の生活の充実と向上に関すること>
ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決

(2) 題材設定の背景及び生徒の一般的な実態と現状

日常生活において、言いたくても言えないというもどかしい思いをしたことや、相手を十分に尊重せずに言ってしまったり失敗したことなどは誰しもあるだろう。そのような体験をもとに自分の表現方法のパターンを知り、より良い表現方法を身につけていく必要がある。特に、高校生にとって、お互いを大切にしながら自分の思いや考えを適切に伝えるということは、社会的なスキルを高め、自己実現と社会的自立を図っていく上で重要である。

この授業では、自他尊重を目指したより良いコミュニケーションのあり方について学習をしていく。今回は、日常のコミュニケーション場面において生じる問題場面を解決するための自己表現について振り返り、具体的な方法について学習をしていく。

(3) 指導法・指導上の留意点

3つの話し方についての学習(授業実践プログラム1)を思い出させる。

教師自身のデモンストレーションで生徒に興味を持たせ、意欲的に参加させる。

アサーション・トレーニング(*1)の手法の一つであるDESC法(*2)を用いて、問題解決のための方法を指導する。

DESC法を用いて問題解決のためのシナリオを作成させる。

(*1):「自他尊重」の話し方について学習する自己主張訓練方法

(*2): 問題解決のための自己表現について4段階で考えていく方法

2 指導目標

(1) DESC法を学ぶ。

(2) DESC法に基づいて問題解決のシナリオを作る。

3 指導計画

(1) 事前・事後指導

事前指導 - 既習(授業実践プログラム1)の自他尊重の表現方法をどのように生活に生かしているか振り返る。

《本 時》 - 「問題解決のためのシナリオ作り」の授業を実施する。

事後指導 - 「問題解決のためのシナリオ作り」によって学習した方法をどのように生活に生かしているか報告会を行う。

(2) 教科指導との関連

国語科における、「話すこと」との関連を図る。

4 指導案

(1) 指導過程

指導目標	DESC法を学ぶ。 DESC法に基づいて問題解決のシナリオを作る。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。 (1) 3つの表現方法について思い出し、問題解決のシナリオ作りへの関心を高める。	前時(授業実践プログラム1)で生徒が書いた感想を読んで聞かせる。 効果的な復習のためにPC・プロジェクターを使用する。	PC資料1
展開 (40分)	2 場面1について。 (1) 場面1の映像を見る。 (2) 場面1について教師のデモンストレーションを見る。 (3) 場面1で感じたことを隣の生徒と話す。 3 DESC法について学ぶ。 (1) D(DESCRIBE)状況描写について知る。 (2) E(EXPRESS)気持の表現について知る。 (3) S(SPECIFY)具体的な提案について知る。 (4) C(CHOOSE)選択肢について知る。 4 問題解決のためのシナリオ作り。 (1) DESC法を使い、グループで場面2について問題解決のためのシナリオを作る。 (2) グループ代表が発表する。	場面1に注目させるためにPC・プロジェクターを使う。 場面1を攻撃的な表現を使って示す。 アサーティブな(自他尊重の)表現といえるか 何人かに発表させる。 学習内容を理解しやすくするためにPC・プロジェクターを使う。 提案が受け入れられなかった時のことも考えさせる。 場面2に注目させるためにPC・プロジェクターを使う。 グループ活動の前に個人でワークシートにD, E, S, Cを記入させる。 4人グループでグループ案を作らせる。 教師が各グループ案の良い点を適宜取り上げる。	PC資料2 教師用資料 PC資料3 ~7 【評価2】 PC資料8 ワークシート 【評価1】 【評価2】
まとめ (5分)	5 本時の活動を振り返る。 (1) 振り返りカードに記入する。 (2) 本時の感想を発表する。	本時の振り返りをさせ、これからの生活場面で問題解決しなければならない時に活用するように促す。	振り返りカード 【評価3】

(2) 評価計画(評価の観点)

評価1	関心・意欲	問題解決のための方法を意欲的に学ぼうとしているか。
評価2	知識・理解	問題解決のためのシナリオ作りの方法が理解できたか。
評価3	思考・判断	DESC法を使って、問題解決をしようとする態度が見られたか。

5 プログラムの展開例

活動場所 教室

準備物 「教師用資料」「ワークシート」「振り返りカード」「PC資料」

導入(5分)

(PowerPoint 資料はこちらをクリックしてください)

- 1 本時のねらいを理解する。
3つの表現方法を思い出す。

**対人関係における
3つのタイプの自己表現**

非主張的	攻撃的	アサーティブ
引っ込み思案 消極的 服従的 など	自分本位 支配的 他者否定的 など	正直 自他尊重 自他調和 歩み寄り など

感想を読んでもみると、アサーティブが良いけど難しいというのがありました。今日は、問題解決のシナリオ作りをしてみましょう！！



展開(40分)

- 2 場面1について。

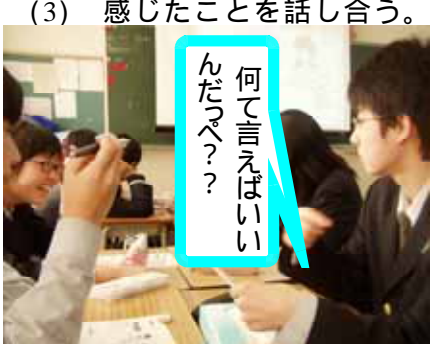
(1) 場面1の映像を見る。

(2) 場面1のデモンストレーションを見る。

(3) 感じたことを話し合う。

場面1

？映画館で前に帽子をかぶった人がいる様子



- 3 DESC法について学ぶ。

D (describe) 状況描写

- ・ 事実は何か？

例: 邪魔なんだけど!!

↓

あなたの帽子で、よくみえないんですが

ポイント

相手に受け入れられやすい

E (express, explain, empathize) 表現する, 説明する, 共感する

- ・ メッセージを使って自分の気持ちを述べる

例: むかつくんだよ!!

↓

私は、この映画を気持ちよく見たいんです。

ポイント

アサーティブに自分の気持ちを述べる

S (specify) 具体的な提案

- ・ 相手ができそうな提案

例: オメーなんか帰れよ

↓

帽子を取っていただけませんか？

↓

取ってくれた時 取ってくれない時



C (choose) 選択肢を示す

- 必要があれば再提案する。

取ってくれた時	取ってくれない時
↓	↓
ありがとう ございます。	ちょっとずれて いただけます？



- 4 問題解決のためのシナリオ作り。
 (1) グループで場面2のシナリオを作る。



電話…
 切りたいんだよね、ウーン



- (2) グループの代表者が発表する。



私たちの班では、こんなシナリオができました。
 「電話頂いてもう1時間になるんですけど……」

これから生活の場面で問題解決しなければならない時は必ず来ると思います。そんな時にはDESC法を思い出して使ってください。

- まとめ(5分)
 5 振り返りカードに記入する。



6 生徒の反応（「振り返りカード」から）

- ・ D E S C法を学習してみて、自分が相手に伝えたいことをどのように伝えていけば良いか整理できた。
- ・ D、E、S、Cのそれぞれについて考えるのは難しかったが、相手も自分も納得するにはいい方法だと思った。
- ・ 今までは相手に不快感を与えていたことがたくさんあったと思う。これからは相手が納得するように話していきたい。
- ・ D E S C法はいろいろ使えるし、とても良いと思った。D、E、S、Cの全部を使えるかどうかは分からないけど役立てていきたい。
- ・ D E S C法を通して、社会でのマナーや伝えたいことの表現方法を学べて良かったと思う。私はどちらかという攻撃的な言い方をしてしまう方なのでこのLHRを通して直していきたい。
- ・ 人に対する接し方が少し分かったような気がする。今日の授業をこれからは生かしたい。
- ・ 選択肢（C）について考えるのが特に難しく感じた。
- ・ D E S C法について初めて知りました。やはり、相手に分かってもらうのは大変なことだなと思いました。
- ・ 話すということは日常のことだが、とても奥が深く難しいことだと思った。
- ・ 相手のことを考えながら、具体的な提案（S）をした後にNOと言われた場合にどのように対処するかが難しいと感じた。

7 授業者の感想

場面1、場面2の状況設定は生徒にとって理解しやすいものであり適切であった。

プロジェクターを用いた授業展開は生徒の理解を促すものとなり効果的であった。また、授業の展開の上でもメリハリが生じてよかった。

前時に実施した第1回目のアサーションの授業である「自他尊重の表現方法」とのつながりを考えた場合に今回の第2回目の実施時期はもう少し早いほうが良かった。

振り返りカードや授業を実施してみたの生徒の反応から、高校2年生において、D E S C法を使い、日常のコミュニケーションについて意識することは意味のあることであると感じた。

8 関連プログラム・参考文献等

参考文献

- ・「アサーション・トレーニング」 平木典子 日本精神技術研究所
- ・「児童心理 コミュニケーション力を育てる」2003年10月号臨時増刊 金子書房
- ・「月刊 学校教育相談」2004年4月号~9月号 アサーション特集 ほんの森出版

デモンストレーション

場面 1

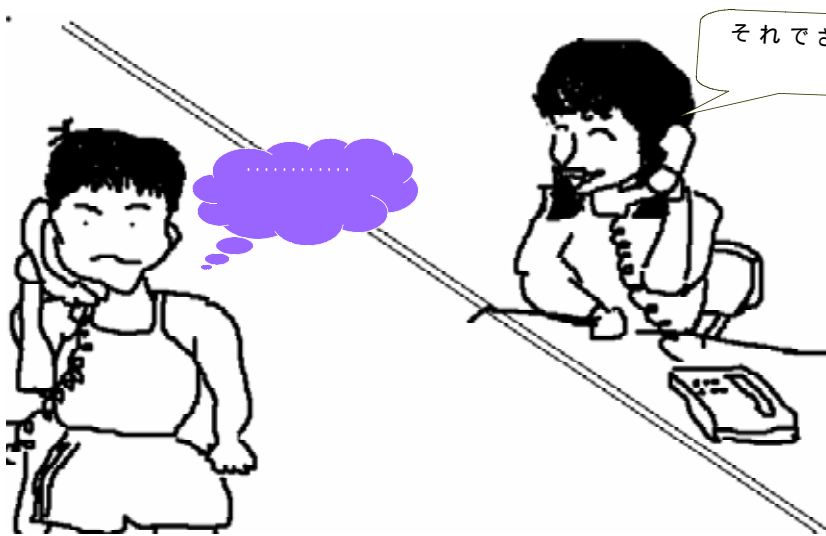
映画館で前に帽子をかぶった人がいて、その人の帽子が邪魔になって映画が見えにくい場面

デモ 1

Aさん： 帽子、邪魔なんだけど！！ せっかく来たのにムカつくなーほんとに！！ 帽子なんかかぶって映画館に来て、オメーなんか帰れよ。

Bさん： えっ…。

場面 2



状 況

緑さんは、健太君に夜電話をかけました。健太君は風呂から上がったばかりでした。緑さんからの電話はまもなく1時間になろうとしています。健太君は、電話を切りたいと思いこう言いました。「寒いから切るよ！！」そして、おもむろに電話を切りました。健太君の発言をDESC法に従って問題場面解決のシナリオに書き替えて下さい。

いから切るよ！！」そして、おもむろに電話を切りました。健太君の発言をDESC法に従って問題場面解決のシナリオに書き替えて下さい。

D
(状況描写)

E
(気持ちの表現)

S
(具体的な提案)

C
(選択肢)

(YES)

(NO)

(PowerPoint 資料はこちらをクリックしてください)

1

対人関係における 3つのタイプの自己表現

非主張的	攻撃的	アサーティブ
引っ込み思案	自分本位	正直
消極的	支配的	自他尊重
服従的 など	他者否定的 など	自他調和
		歩み寄り など

2

場面 1

? 映画館で前に帽子をかぶった人がいる様子

3

DESC法

問題をアサーティブに解決する方法

- D (describe) 状況描写**
- E (express, explain, empathize) 気持ちの表現**
- S (specify) 具体的な提案**
- C (choose) 選択肢を示す**

4

D (describe) 状況描写

- 事実は何か?

例: 邪魔なんだけど!!

↓

あなたの帽子で、よくみえないんですが

ポイント

相手に受け入れられやすい

5

E (express, explain, empathize) 表現する, 説明する, 共感する

- メッセージを使って自分の気持ちを述べる

例: むかつくんだよ!!

↓

私は、この映画を気持ちよく見たいんです。

ポイント

アサーティブに自分の気持ちを述べる

6

S (specify) 具体的な提案

- 相手ができそうな提案

例: オメーなんか帰れよ

↓

帽子を取っていただけませんか?

↓

取ってくれた時 取ってくれない時

C (choose) 選択肢を示す

- 必要があれば再提案する。

取ってくれた時	取ってくれない時
↓	↓
ありがとう ございます。	ちょっとずれて いただけます？



振り返りカード

年 組 番 氏名

今日の授業（LHR）を振り返っての感想を教えてください。（自分の気持ちに一番近いものの数字を で囲んでください。）

1 今日のLHRについて	その通り	だいたい その通り	あまりその 通りではない	その通り ではない
今日のLHRは有意義だった。	4 _____	3 _____	2 _____	1 _____
DESC法についてわかった。	4 _____	3 _____	2 _____	1 _____
DESC法に基づいてシナリオをつくることができた。	4 _____	3 _____	2 _____	1 _____
今回学んだことを今後活用していきたいと思う。	4 _____	3 _____	2 _____	1 _____

今日のLHR全体を振り返って、感じたことや思ったことを自由に書いてください。